

使い込むほどに活用の幅が広がる『建設大臣』は 拡大する事業を会計面でサポートしてくれる存在



SK 理想の住宅をトータルプロデュース
株式会社 エスケー住建 グループ

株式会社エスケー住建 グループ

所在地 埼玉県川口市芝高木1丁目17-35
代表者 北野幸治
設立 昭和63(1988)年
従業員数 200名(グループ合計)
事業内容 建設業・資材販売業・不動産仲介業など
URL <http://www.sk-group.co.jp/>

建設業や資材販売業などを行う8社で構成するエスケー住建グループ。事業や拠点の拡大に伴い、会計業務の量も膨大なものになり、長年、帳簿の入力作業などを引き受けてきた佐川司氏の負担は増える一方でした。そこで、会計業務の効率化・省力化に向け、『建設大臣』を導入。今回は佐川氏と、グループ会社の経理を統括する櫻井勲氏に話を伺いました。

建設業界向けの会計システム導入は必然だった

元々は、建設業を営んでいた佐川氏。当時は現場監督を勤めながら、営業活動から経理業務までをこなすという多忙な日々を過ごされていたそうです。

「当時、建設業財務ソフトを使っていましたが、自社の会計様式に合うように工夫しながら運用していたので、手間が掛かっていましたね。事業拡大をしていくなかで、経理業務の効率化・省力化を図るには、より建設業に特化したシステムが必要と思っていたところ、『建設大臣』のことを知りました」(佐川氏)

導入後、工事台帳や伝票などの入力作業の効率は向上。事業や業務拡大に比例して量が増える経理業務を、現在では5名の事務員が『建設大臣』を活用して担当しています。また人員も増えたことで、必然的に仕事の分業化が進行。『建設大臣』のシステムを用いての経理作業は、分業化推進の効果もあったようです。



佐川 司 氏



同社WEBサイト

✖ 導入前の問題点

- 建設会計未対応のソフトで手間が掛かっていた
- 経理作業量の増加による、担当者の業務過多に
- 入力内容の確認などに時間が掛かっていた

○ 導入後の改善点

- 専門システムの導入で、運用が容易に
- 入力作業の効率が向上し、省力化を実現した
- 集計や確認の作業、資料作成が簡略化した



考えながら活用することで欲しいデータを簡単に抽出

同グループの経理部門を統括する櫻井氏。

「私の場合、各事務員が入力した内容や残高、工事内容、請求漏れの確認などを行うため、それぞれの帳票を出力してチェックしています」(櫻井氏)

また、佐川氏との打合せ時に用いる資料作成にも『建設大臣』が貢献しています。

「大臣で作成したデータをエクスポートでき、エクセルなどで加工して資料を作っています。これらの機能は大変重宝していますね。また、資金繰りの実績表や予定表などを作成する際にも、キャッシュフロー計算書を一覧で出力、資金繰管理の機能を活用しています」(櫻井氏)

入力する際にもひと工夫があります。

「台帳や帳票を入力する時に、自分が欲しい情報を検索して抽出することが多いので、検索しやすいように、意識しています。例えば、摘要やキーワード、ふせん機能などを使って、複合的に自分が確認したい画面や数字を閲覧できるようにしています」(櫻井氏)



櫻井 勲 氏

使えば使うほど、見えてくる『建設大臣』の有益な活用法

短・中期の明確な目標に向け、邁進する同社。

「2～3年後にグループ全体で、売上高100億円を突破したいと考えています。堅実な経営を行いながら、営業拠点を拡大して、目標達成を目指していきたい」(佐川氏)

今後の事業・拠点拡大のため、さらには堅実な企業経営を行い、先を見通した経営判断を下していくには、企業の経営状態の把握が必須です。

「『建設大臣』は、単に月次業務や決算業務を行うためだけのものではなく、使い方によって経営上の分析などの幅広い活用方法があるシステムだと思います。経営状態をつかむためにも、もっと機能を使いこなして、運用の幅を広げていきたい」(佐川氏)

「あらゆる角度から経営分析を行うため、的確な情報を収集が不可欠。『建設大臣』をフル活用して、必要に応じた資料を用意していきたい」(櫻井氏)

経済情勢の影響などを受けやすい建設業界。そのなかでも堅調な成長を続けている同社の、会計面での支援を担っている『建設大臣』。今後ますます良きパートナーとして、活躍の場を広げることができそうです。

システム構成

LANPACK:
グループ内でネットワーク運用



Windows Server

スタンドアロン:
グループ内1社で運用



建設大臣



建設大臣NX Super
LANPACK 10クライアント
+スタンドアロン

日付	伝票No	相手科目	材料費	労務費	外注費	経費	度
8/30	241	工事未払金	881,421				
	242	工事未払金			786,268		
	243	工事未払金				88,875	
	244	工事未払金				20,754	